

地域でお餅つき大会やお祭り(コロナで今はできないけど)で近所づきあいがあって、色んな人から声をかけられたり心配されたりして子どもって成長していくのが良いと思うけど、大人がそれを煩わしいと感じてしまっているような感じ。

不審者の情報もよく入るし。

でも地域の付き合いって、家では出来ない炭火でみんなでついたお餅を焼いたりして子どもにとっては貴重な経験ができたりする場なので大切にしたいよね

おじいちゃんおばあちゃんやお兄さんお姉さんに関わっているいる学んでいくところって大切。
見守りの目にもなるし、つながりも作れる。

みんなに大切にしてもらったり、色んな人に関わることで、社会的責任を学んでいったり、他世代の価値観や常識を学んでいったり。余裕のある人が子どもに寄り添ったり。地域って大切。

家庭では共働きとかで忙しい方が多いけど、子どもの話をちゃんと聞いてあげられる環境になってるのかな？

大人に心の余裕がないと感じる。比較しないように、視野を広げられるように、大人もひろばやサロンに行く機会が必要。

最近は子どもに干渉すぎる親も多いような…。だから子どもが自分の気持ちを言葉にすることができないんじゃないかな？
大人の対応を「待ってる」という状況がある。子どもの個性をもっと尊重して自分を表せるように促さないで。

学校が未だ40人クラスらしい。多すぎる。子どもひとりひとりを見れる環境ではないんじゃないかな？

先生も大変だと思う。いろいろなスピードの子どもたちをまとめるとなると型にはまった教育になってしまう。
それではひとりひとりが伸びないんじゃないかな。

少人数にして子どもひとりひとりにきちんと関わられるようにしないと先生の負担もすごいと思う。思うような教育が先生自身もできないんじゃないかな。



ひとりひとりを大切に。個人に耳を傾けてあげること。

自分を大切にする力を育て「生きる力」「立ち回る力」になると思う。

